

2012年度第3四半期 決算説明会  
主な質疑応答

Q1. 来期に FPD の在庫調整の反動があつて期待できると思っていたが、中国(旧正月)などの期待感や見通しは？4Qで在庫調整が終わる兆しはあるのか？

A1. 3Q 実績は想定を上回った。パネルメーカーが在庫を積み増したため、4Qで調整が入ると見ている。TV 用は順調であり来年には戻ると想定しているが、WV フィルムが使われるモニター市場がどこまで戻るのかが問題であり不透明。

Q2. VISION80 の来年営業利益 1800 億円は達成可能だと思うのか？

A2. 事業環境が大きく変わり、精査する必要はある。チャレンジングだと思っている。

Q3. マクロの要因にあまり影響を受けずに、違う動きをして成長を牽引する主要な事業は？

A3. ヘルスケア、特に医薬品の収益性が上がる。市況の影響を受けることもあるが、機能性材料も新製品が出るなど収益改善のポイントとなる。

Q4. ドキュメントの見通しを下方修正した背景として、売上減・工場の稼働率低下などいろいろ挙げられているが、どの要因のインパクトが大きかったか？

A4. 売上原価が改善目標まで届かなかったことと、粗利が目標に対して未達であることの2つが大きい。4Q は、部品工場の火災の影響をカバーしお客様に供給を切らさないため、追加コストがかかる。米国ゼロックス社向け販売もすぐには回復しなさそうなことも要因のひとつだ。

Q5. 来期のデジタルカメラの目標台数は？

A5. ラインアップの見直しを行うため、今の段階で具体的な台数は言えない。今は台数ベースでハイエンドが 2 割、ローエンドが 3 割となっているが、残りの中間の部分をどう整理するのかは市場を見て精査しなくてはならない。ハイエンドは伸ばしていく。